伊賀市社協だより でまります。 おでまた。 おでまた。

第3期 外国人防災リーダー教室 開講!

日時/7月28日(日) 場所/伊賀市消防本部 内容/「災害の基礎知識」 (講師)伊賀市防災危機対策局 「応急手当・消火体験・車輌見学」(講師)伊賀消防署





勿





外国人のみなさんは、災害情報など情報収集の制約や、地域コミュニティとつながる機会が十分でないなど、災害発生時にあらゆる場面で困難に直面する可能性があります。

現在、伊賀市総人口に占める外国人住民の割合は 7%。災害時においても、誰も孤立させない地域をつくるためには、彼らの力が必要です。

伊賀市災害ボランティアセンターでは、災害時に自分や家族、仕事の仲間や地域の人々の命を守り、生きのびるために、令和 6 年度地域活動支援事業補助金を受け、「外国人防災リーダー教室」を開講しています。令和4年度からスタートした講座で、計 31 人の外国人防災リーダーが誕生し、今期は7人の受講者と共に、学び始めています。

自然災害発生 公衆衛生危機

経済危機

非常時に備え、 民間主導による 「非常時資金調達 管理センター|発足!



7月 29 日ハイトピア伊賀3階で、「伊賀市非常時支援資金調達・管理センター」設立総会が行われました。 上野ロータリークラブが設立発起人代表、上野商工会議所、伊賀市商工会、伊賀市社会福祉協議会が発起人 となり、生活危機などの非常事態に備え、広く寄付を呼びかけてまいります。



伊賀市非常時支援資金調達・管理センター センター長 平井俊圭

新型コロナ感染症では大規模なダメージを受け、また災 害が頻発する時代となりました。新型コロナの際には、行 政の支援が決まり動き出すまでの間に「今日食べる物がな い」「明日寝る所がない」という、通常では考えられない状 況に対応するため、報道機関に呼びかけて緊急支援を市民 の皆さまからいただき、何とか乗り越えることができました。

その時の経験と学びを今後に生かすために、この度「伊 賀市非常時支援資金調達・管理センター」を立ち上げました。 これは、非常時に素早く必要な資金を必要な場所へ支援で きるよう、平常時から資金を集めて管理する組織です。

この資金の即応性を生かすため、民間からの資金が必要と なり、企業・個人の皆さまからのご協力をお願いしています。

ご協力いただいた方々には、会報誌やホームページなど でお名前を公表させていただきます。ぜひ趣旨をご理解い ただき、寄付のご協力を賜りますことを心よりお願い申し 上げます。



伊賀市非常時支援資金調達・ 管理センター事務局 山本禎昭

コロナ禍では、自宅待機を余儀なくされた地 域の人々に、社会福祉協議会が食糧や日用品を 配布する事業をされ、活動資金が尽きるという 事態が起こりました。今後もこのような事態が いつ起こってもおかしくない状況の中で、上野 ロータリークラブ設立 70 周年として地域に貢献 できることを考えており、行政のアドバイスも いただきながら、「非常時支援基金調達・管理セ ンター」の構想を固め、センター設立発起人代 表として呼びかけ、事務局機能を担うことにな りました。

民間セクターとして、企業や非営利組織が持 つ資源や専門知識、ネットワークを活用しなが ら、生活危機を乗り越えていくことを目指して 参りますので、ぜひみなさんのご協力をお願い いたします。

非常時に必要となる経費(例)

自然災害



災害に応じた資機材等の調達費用、 災害ボランティアバスの運行費用、 被災地支援スタッフ派遣等の費用

公衆衛生 危機



自宅待機者等の食糧・日用品入手困 難対策のための物品購入や配達費用

経済危機



経済危機に陥った人が、今日、明日 を生きるために必要な宿泊場所や食 糧確保のための資金

お問合せ

▶全般問い合わせ先 伊賀市非常時支援資金調達・管理センター事務局(上野ロータリークラブ) 0595-24-3100 又は 090-8964-0873 メール uenodenk@aqua.ocn.ne.jp

▶ご寄付のお申込み・問合せ先 伊賀市社会福祉協議会

雷0595-21-5866 FAX0595-26-0002 メール info@hanzou.or.jp

★伊賀市社協への寄付は、税制上の優遇措置を受けることができます。

、協賛】 メナードカントリークラブ青山コース

火

(申込・問い合わせ先) 【申込締切日】9月4日

- 2999 <u>№</u>52 - 3555

青山チャリティ 加者募集

開催します。 ちしております。 開催日 「青山チャ 10 月 23 日 リティゴルフ大会」 みなさまの参加をお待 (水 を

軽食、 賞品代を含みます。 ※参加費にはセルフプレー、 ブ青山コース 参加費 【開催場所】メナードカントリークラ 2ソフトドリンク、 1,0, 000円 参加 昼食、

迎無料バス」に活用します) ※別途、チャリティ寄付金(2,000円) 青山管内で実施している「お買物送 のご協力をお願いします。(寄付金は)

開

共催 アピン賞(前半のみ)・BB賞・メ ロス賞・ドラコン賞(前半のみ)・こ 主催 ナードCC賞 他 (HDCP:40)、各ホールWパーカット (協議方法) 【賞】優勝~10位・飛び賞・ベストグ (6インチ可)、シングルペリア 伊賀市社会福祉協議会 青山チャリティゴルフ実行委員会 18ホールストロークプ 全参加者に賞あり

> 金澤兼六製菓で (株)金澤兼六製菓 チャリティセール

削減を推進しています。 その目標の1つとして、 社会福祉協議会に寄付されます。 催します。 のも含め、 る時期に、 (で して、フルーツゼリーの販売が終わ 取り組んでおり、 は、SDGs の活動 なお、 チャリティーセールを開 賞味期限が十分にあるも 売り上げの一 その一環と 食品ロスの 一部は、

(日時) 9月1日 (土) 8時30分~14時30 分

問問 |合せ先】金澤兼六製菓三 『催場所】金澤兼六製菓 三重工場 (西明寺2380-1) 23 - 1 1 3 1 重工場

講者募集ー 養成講

サポー ます。 知症サポーター養成講座」を開催し 安心して暮らせる地域づくりをめざ 念の伊賀支部活動の一つとして、 気軽にご参加ください。 になってみませんか? この機会にお ます。 三 重 認知症に対する理解を深め、 ターを増やすことで、 県社会福祉士会創設30周年記 あなたも認知症サポーター 誰もが 認

1

日の流れやサービスを知り、

仕事

2日以上じっくり実際の職場を体験-

内容や適性を確認できます。

実際に

場所 日時 【内容】認知症サポーター 9 月 29 日 (講話・寸劇など) ゆめぽりすセンター $\widehat{\exists}$ 14 ·養成講 時 (16 時

(講師) (認知症サポーターの証) をお渡しします (申込締切】9月18日(水) 【参加費】 無料 ※全員にオレンジリング 市保健師、キャラバン・メイトいが

世話人☎090 - 7304 - 2507 【連絡先】 三重県社会福祉士会伊賀支部

のお仕

職場体験を実施します。 選択・転職を検討している方など、 福祉・介護に関心のある方を対象. 福 祉・ 介護現場への就労や、 進

まずは現場を覗いてみませんか? こころみコース 就労体験コース 3時間で職場の雰囲気を体感 福祉に興味があるけれど不安な方、

結びつけることができます。 働くイメージを持つことで、 【申込・問合せ先】 就職に

三重県福祉人材センター **☎**059-227-5160

쏨 中



数字で見る伊賀市の福祉

令和6年6月末現在(前月比)

伊賀市の人口

▶ 85.153人 (-72人)

伊賀市の世帯数

▶ 40,552世帯(-1世帯)

65歳以上高齢者数 ▶ 29.042人 (-5人)

> 34.1%(±0%)

75歳以上高齢者数 ▶ 16,597人 (+26人)

高齢化率

後期高齢化率 ▶ 19.5% (+0.1%)

介護保険認定者数 ▶ 6.193人 (+25人)

No.208 あなたのまちの ふれあい・いきいきサロン



ひまわりの会

メンバー数/8人+生徒14人 開催場所/伊賀白鳳高校 開催頻度/年10回(第3土曜)

「ひまわりの会」は、伊賀白鳳高校ボランティア部の生徒が運営 スタッフとなって実施しています。現在のサロンを始めたのは、伊 賀白鳳高校が開校した平成21年度で、前身である上野商業高校時 代も含めると、20年以上継続しています。生徒のみなさんも、人 と接するときの身のこなしや態度を覚えたり、コミュニケーション 能力が向上したりするなど、成長した姿で卒業していきます。

毎回の小物作りは、生徒の意見を取り入れて企画しています。小 物作りの後にはお菓子タイムがあります。参加者のみなさんは毎回 とても楽しみにされており、今後もみなさんの生きがいとなる「居 場所作り」をめざしています。

【利用者募集中(5名程度)】緑ケ丘在住の65歳以上でお一人暮ら しの方(来場可能)で参加ご希望の方は、☎21-7969(伊賀白鳳 高校ヒューマンサービス科)まで、ぜひお問合せください。

我ら!ふくし





辻中 孝子さん(73歳) (上野在住)

●活動を始めたきっかけ

認知症の父親のために何か学べることはないかと思い、やすらぎ支援 員養成講座を受講しました。そこで、「認知症の人と家族の会」の代表 と出会い、活動を始めました。また、独居の人や身寄りのない人はどう しているのだろうと気に掛かり、生活支援員養成講座も受講して活動を しています。

●活動内容

「認知症の人と家族の会」で月に1回つどいを開催して、認知症の 人を介護する家族がお互いのしんどいと思っていること話したり、情 報交換をしています。他にも、生活支援員として利用者さんを訪問し たり、認知症を正しく理解するための「認知症サポーター養成講座」 を開催するキャラバン・メイトとしても活動しています。

●今後の抱負

認知症に特化した支援だけではなく、子どもから高齢者まで幅広い支 援が必要とされており、地域での支え合いが大切になってきていると感 じています。地域の中で誰かが気づいて声を掛けられるように、まずは 自分に出来ることや身近なことから始めて続けていきたいです。

みとし、 ե つと 金調 共に助けあえる地域り組みとなります。亚として、全国でも画期 大きな一歩となりました。 て、乗 して、 達 ジ目 管理セ な全り、常り国越人事 の 心えていた こえて 態 「非常 ノター」 の 域平期くが備 時 時的仕繋え 支 は、援 かな組がの

❷ 伊賀市社会福祉協議会 編集・発行

〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1 階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002 〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1 階

☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123 〒519-1413 愛田 513番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 **☎0595(45)1012** / FAX0595(45)1050

〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」 **☎0595(59)3132** / FAX0595(59)3145
〒518-1313 馬場 1128 番地の 1 阿山保健福祉センター

☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577

平田 656 番地の 1 大山田福祉センター **〒518-1422**

20595(47)0780 / FAX0595(46)1165 〒518-0226 阿保 1988 の 1 番地 青山福祉センター

☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555